

【専門科目領域/専門科目群/公衆衛生看護学】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
公衆衛生看護活動展開論 I	NSP43_002	選択	2	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
望月 宗一郎 他	301	s.mochizuki	水曜日 12:30～13:30		
授業の目的・概要	複雑な地域社会の状況を理解し、対象となる人々の健康状態とその健康に影響する要因を詳細に分析し対策を立案する必要性について学ぶ。 公衆衛生看護活動展開論 I では特に、公衆衛生看護活動の基盤となる理論、地域組織活動で活用できる理論・方法論、計画立案から実施・評価に至る基本的な公衆衛生看護実践プロセスについて理解を深める。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・イベント <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	本科目は、今までに履修した公衆衛生看護学関連科目で得た学びを統合して学習するため、これまで履修した科目を十分復習したうえで臨むこと。				
教科書	自分たちで創る現場を変える地域包括ケアシステム わがまちでも実現可能なレシピ / 編：竹端 寛 ほか / ミネルヴァ書房 / 2015 国民衛生の動向 2025/2026 / 厚生労働統計協会/2025				
参考書	なし。				
外部教材	なし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	地域診断に基づく活動計画・実践・評価の基本について理解でき、説明できる		HSU(1)(2)、NS(1)		
②	地域の健康情報のアセスメントに必要な技術を修得できる		NS(2)(3)(4)		
③	自主性・社会性を身につけるとともに公衆衛生看護学実習に向けて学習の準備ができる		HSU(4)(5)、NS(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	公衆衛生看護の機能と技術について学修する。	講義	教科書の該当箇所を読み、予復習すること。	4	
2	公衆衛生看護活動における対象の理解について学修する。	講義	教科書の該当箇所を読み、予復習すること。	4	
3	基本的な実践プロセス (計画立案・実施・評価) について学ぶ。①	講義・演習	教科書の該当箇所を読み、予復習すること。	4	
4	基本的な実践プロセス (計画立案・実施・評価) について学ぶ。②	講義・演習	教科書の該当箇所を読み、予復習すること。	4	
5	地域アセスメントに必要なデータ源と収集方法を学ぶ。①	講義・演習	教科書の該当箇所を読み、予復習すること。	4	
6	地域アセスメントに必要なデータ源と収集方法を学ぶ。②	講義・演習	教科書の該当箇所を読み、予復習すること。	4	
7	対象となる地域のインターネット上の情報を収集する。①	講義・演習	教科書の該当箇所を読み、予復習すること。	4	
8	対象となる地域のインターネット上の情報を収集する。②	講義・演習	教科書の該当箇所を読み、予復習すること。	4	
9	対象となる地域のインターネット上の情報を収集する。③	講義・演習	教科書の該当箇所を読み、予復習すること。	4	
10	量的データをアセスメントしやすく効果的に見せるための図表を作成する。①	講義・演習	教科書の該当箇所を読み、予復習すること。	4	
11	量的データをアセスメントしやすく効果的に見せるための図表を作成する。②	講義・演習	教科書の該当箇所を読み、予復習すること。	4	
12	量的データをアセスメントしやすく効果的に見せるための図表を作成する。③	講義・演習	教科書の該当箇所を読み、予復習すること。	4	
13	コミュニティ・アズ・パートナーモデルを活用して対象地域をアセスメントする。	講義・演習	教科書の該当箇所を読み、予復習すること。	4	
14	対象地域の健康課題を特定していく。また、健康課題の優先性を判断し整理する。	講義・演習	教科書の該当箇所を読み、予復習すること。	4	
15	本科目に関連した保健師国家試験に向けた知識の確認を行う。	講義・演習	これまでの学習課題を振り返り内省する。	4	
試	試験・課題レポートの記述				

【専門科目領域/専門科目群/公衆衛生看護学】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	15	0	85	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	10	10
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	15	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	15	15
	発表・表現伝達する力	0	0	15	0	0	15
	コミュニケーション力	0	0	0	0	15	15
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	15	15
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	15	15
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				フィードバックの方法	
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	演習の中で行った成果を発表する際のプロセスと、発表内容などを総合的に評価する。				授業時間内でフィードバックしていく。	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	演習に積極的に取り組み、課題に適切に対応できる社会人基礎力を養うため、他者の発言をよく聞き積極的に発言すること。毎回の発言回数及び発言内容を評価する。また、授業の出欠席も評価する。				授業時間内でフィードバックしていく。	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	須田 由紀、河西 美生						
教 員 の 実 務 経 験	担当する教員は、行政保健師および病院における看護師の経験を有する。						
実 践 的 授 業 の 内 容	保健師としての実務経験を活かし、地域住民やその家族等の具体的な事例を交えながら講義を進め、実践をイメージしながら知識と技術の習得を目指す。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助：石原 杏夏</li> <li>・講義には特別な理由がない限り毎回出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。</li> <li>・学生の理解度に応じ、講義・演習の速度や順番を調整する可能性がある。</li> <li>・大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。</li> </ul>						